

2014年度町田市教育委員会

第1回定例会会議録

- 1、開催日 2014年4月11日
- 2、開催場所 第三、第四、第五会議室
- 3、出席委員
- | | | | |
|-----|---|----|----|
| 委員 | 長 | 佐藤 | 昇 |
| 委員 | | 岡田 | 英子 |
| 委員 | | 井関 | 孝善 |
| 委員 | | 高橋 | 圭子 |
| 教育長 | | 坂本 | 修一 |
- 4、署名委員
- 委員長
- 委員
- 5、出席事務局職員
- | | | |
|----------------|----|----|
| 学校教育部長 | 吉川 | 正志 |
| 生涯学習部長 | 田中 | 久雄 |
| 学校教育部次長 | 高橋 | 良彰 |
| (兼)教育総務課長 | | |
| 教育総務課担当課長 | 有田 | 宏治 |
| 施設課長 | 岸波 | 達也 |
| 学校施設管理センター担当課長 | 桑原 | 一貴 |
| 施設課担当課長 | 横山 | 法子 |
| 学校教育部次長 | 田中 | 英夫 |
| (兼)学務課長 | | |
| 保健給食課長 | 佐藤 | 浩子 |
| 指導室長 | 宮田 | 正博 |
| (兼)指導課長 | | |
| 指導課担当課長 | 田中 | 利和 |
| 統括指導主事 | 小林 | 洋之 |
| 教育センター所長 | 深澤 | 光 |
| 教育センター担当課長 | 黒澤 | 一弘 |

統括指導主事	中原明寿
生涯学習総務課長	神田貴史
生涯学習センター長	稲田公明
生涯学習センター担当課長	外川吉宏
生涯学習部図書館担当部長 (兼) 図書館長	尾留川 朗
図書館市民文学館担当課長 (町田市民文学館長)	河井康雄
図書館副館長	近藤裕一
図書館担当課長	吉岡一憲
書 記	高橋由希子
書 記	小泉宣弘
書 記	田中みゆき
書 記	谷山里映
速 記 士	帯刀道代

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

6、提出議案及び結果

議案第2号	教育委員会職員の4月11日付け人事異動の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
議案第3号	町田市公立学校教職員の新規採用に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
議案第4号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認

7、傍聴者数 3名

8、議事の概要

午前10時00分開会

○委員長 おはようございます。それでは、ただいまから町田市教育委員会第1回定例会

を開会いたします。今回は、坂本委員が教育長に就任して最初の定例会です。

本日の署名委員は高橋圭子委員です。

まず日程の一部変更をお願いします。日程第2、議案審議事項のうち、議案第4号は非公開案件ですので、日程第3、報告事項終了後、一旦休憩をとり、日程第4として、関係者のみお残りいただき、審議をしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ご異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

以下、日程に従って進めてまいります。

日程第1、月間活動報告に入ります。

教育長から説明をお願いいたします。

○教育長 それでは、月間活動報告ということでご説明を申し上げます。お手元の「主な活動状況」をご覧くださいと思います。

前回の教育委員会定例会は3月7日に開催されましたが、それ以降の主な活動状況でございます。なお、3月31日までは前任の渋谷教育長の活動ということでございますので、表をご覧くださいの上、ご承知おきをいただければと存じます。

資料の裏面の4月以降でございますが、人事異動の関係で、1日と2日に辞令交付式あるいは臨時校長連絡会などが行われ、各委員の皆様にもご出席をいただきました。

なお、1日には教育委員会の臨時会が開かれまして、私自身の教育長選任並びに辞令をいただいたということもございました。

4日の金曜日ですが、町田市の中学校教員が神奈川県警に逮捕された事件を受けまして、臨時の校長会を急遽開催し、教育委員長にもご出席をいただきまして、校長先生方に綱紀粛正、服務規律の確保等について、改めて周知徹底を図るようお願いをいたしました。なお、この件につきましては、詳細について後ほどご報告をさせていただきます。

7日、8日ですが、小学校並びに中学校の入学式がございまして、各委員の皆様にはそれぞれにご出席をいただいたところでございます。

また、7日には、東京都教育委員会の比留間教育長初め、町田警察署、南大沢警察署、町田消防署の各署長さんをお訪ねしまして、今後一層の連携をお願いしてまいりました。

9日ですが、東京都市教育長会が自治会館で開催されましたので、これに出席をいたしております。

昨日、10日の木曜日ですが、今年第1回目の校長役員連絡会が開かれまして、今後

も率直な意見交換をとということでご挨拶を申し上げました。

また同じ日の午後に、東京都教育施策連絡協議会が都庁でございまして、教育委員の皆様と一緒に出席をしております。

簡単ですが、私からは以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。両部長から何かございましたらお願いいたします。

○学校教育部長 それでは、私から、2014年第1回町田市議会定例会3月議会におきまして、3月20日に開催されました文教社会常任委員会、学校教育部所管分について、ご報告を申し上げます。

学校教育部の案件は2014年度の一般会計と行政報告4件でございます。

まず当初予算につきましては、主な質疑といたしまして9件ございました。

1点目、廃校となった校舎の利用について、町田市として対応すべきではないかとのご質問がございました。

2点目、教職員事務費について、都費負担事務員等が欠員となったときに、町田市が臨時職員賃金を出しているのか。

3点目、給食調理員及び用務員の現在の配置状況について。

4点目、給食問題協議会の委員構成及び諮問内容について。

5点目、学校サポーターの人数と学校での配置状況について。

6点目、心のアンケートの実施回数を学校判断で決めることはできないか。

7点目、特別支援学級の配置について。全校につくる計画はあるか。

8点目、堺中学校の水はけの悪いグラウンドの対策について。

そして最後に、防音工事について前倒しで工事ができないかなどの質疑がございました。採決では賛成多数で可決すべきものとされております。

次に、行政報告といたしまして、4件報告をさせていただきました。

1点目、町田市教育プランの改定及びパブリックコメントの実施結果の報告について。

2点目、児童及び生徒用防犯ブザー支給事業について。

3点目、学校給食費の改定について。

最後に、第10期学校給食問題協議会の答申について。

以上4件の報告を行っております。

以上です。

○生涯学習部長 同じく3月20日の文教社会常任委員会における生涯学習部所管分の審

議につきましてご報告いたします。

生涯学習部の案件につきましては、同じく当初予算案と行政報告1件でございます。

まず予算案ですが、これに対する質疑についてです。生涯学習センターの関連では、保育つき事業及び家庭教育支援事業の内容の確認、障がい者青年学級の募集予定について、さがまちコンソーシアム事業の今後の展開等についてご質問がありました。

また、図書館関係では、2014年度に予定しております木曾山崎図書館の耐震工事の内容、工期、利用者への影響等について、ICタグシステム導入事業の導入費の内訳、導入効果等について質疑がありました。

当初予算につきましては、委員会、本会議とも賛成多数で可決されております。

行政報告は、町田市生涯学習推進計画について報告をいたしました。特に質疑はなく、報告のとおり了承されております。

報告は以上でございます。

○委員長 教育長及び両部長からの報告に関しまして、質問等がありましたらお受けしたいと思っております。いかがでしょうか。

1点、教育プランについて、どのようなご意見などがあつたでしょうか。

○教育総務課長 特にご意見等はございませんでした。

○委員長 ほかによろしいでしょうか。

○岡田委員 学校サポーターについて議員から質問があつたということですが、任期などについて何かご意見があつてのご質問だったのでしょうか。どのようなご意見あつたのか、教えていただければと思います。

○指導課担当課長（統括指導主事） 学校サポーターにつきましては、必要なときに必要な人的支援をお願いしますという内容でございました。

○委員長 ほかにございますか。

（「ありません」の声あり）

次に、各委員から報告をお願いしたいと思いますが、最初に私から1つ報告させていただきます。

まず、卒業式、入学式についてでございます。卒業式につきましては、例年、小学校42校、中学校20校、計62校に教育委員会及び市長部局の管理職が参列して、町田市長及び町田市教育委員会連名の祝辞を代読する形をとっておりますが、2013年度は議会と卒業式の日程が重なつたために、統括係長まで式に参列していただきました。大変ありがとうございます。

ございました。

それから、入学式につきましては、原則として教育委員会からの参列はなく、教育委員会の祝辞は副校長等が代読する形をとってきておりました。そうした中、これまで教育長を除く4人の教育委員は、各委員の個人的な判断で、近隣の学校等の入学式に参列しておりました。しかし、今年度からはこの状況を改めて、参列する学校については、近隣の学校等に限定することなく、前年度に訪問をする機会がなかった学校等を、教育委員4人で協議して選んで入学式に参列し、その学校の状況を把握することといたしました。そのことにつきましては、「主な活動状況」の中に、教育委員が小学校、中学校の入学式に出席しているということで丸印がついております。

私からは以上です。

それでは、高橋委員、お願いいたします。

○高橋委員 今、委員長からも報告がありましたように、小学校、中学校それぞれの卒業式と入学式に参列してまいりました。

3月19日、金井中学校の卒業式に参りました。卒業証書を受け取る子どもたちの美しい所作、また卒業生数名が語った中学3年間のすばらしい思い出、卒業生全員の思いのこもった合唱、どれも感動的でした。式の後、校長先生に、3年間に及ぶ教育へのねぎらいの言葉を申しましたところ、「この学校は何しろ子どもたちがすばらしいんです、今日の姿を見て、この子どもたちをもっともっと伸ばしてあげることができたのかもしれないと思っています」と、大変謙遜なお返事が返ってきました。

3月24日、小山田南小学校の卒業式に参りましたところ、校長先生が開口一番、「本日の卒業式、残念ながら欠席している子どもがおります。不登校の子どもたちそれぞれに、担任からも校長からも、卒業式には来てほしいと働きかけてきましたが、それでも、どうしても出席できない子どもがいることをお許しください」とおっしゃいました。最後の最後まで子どもたちを見放すことなく声をかけ、子どもたち全員が卒業式に出席してほしいという校長先生を初めとする先生方の子どもたち一人一人への熱い思いを感じました。

私はどちらの校長先生からも、子どもたちのことを一番に思う子どもたちへの愛を感じることができ、大変うれしく思いました。どちらの卒業式も感動的で、本当に子どもたちが立派だったことが印象的でした。

4月7日、木曾境川小学校の入学式に参りました。新1年生は司会の先生の指示をよく聞いて動いていました。新2年生からのお祝いの言葉と合奏がありましたが、1年間の教

育の成果をひしひしと感じる立派な姿でした。教育の力、教育のすごさを改めて思いました。

4月8日、忠生中学校の入学式に参りました。新1年生はほとんどぶっつけ本番の式ですので、動きがうまくいかない場面がありましたが、それを後ろから見守る2、3年生の態度が大変きちんとしていて、式全体を引き締めてくれていました。新入生を迎える上級生の自覚を持った立派な姿を、小学校、中学校どちらでも見ることができ、やはり大変うれしく、頼もしく思いました。

3月28日、自由民権資料館の「小野路村展」を見てきました。縄文時代の土器から昭和時代の小野路の航空写真まで、出土品、古文書、写真、新発見の資料が数多く展示され、小野路村の歴史をわかりやすく興味深く知ることができるように工夫された展示ですばらしかったです。また、小野路在住の新倉孝之氏の描かれた小野路の名所の水彩画が入り口に展示され、花を添えていました。

この展示を小野路地域に住む小・中学生にぜひ見てほしい。そうすれば、さらに郷土への関心や思いが深まると感じました。開催日が2月8日から3月30日という年度末でしたので、学校の忙しい時期と重なっています。もう少し長期間展示して、近隣の小・中学校に宣伝をして呼びかけてもよかったのかなと思います。

また、今回、小野路宿里山交流館の「いにしへの小野路写真展」と同時開催されていたのは、両施設のアピールにも大変よかったと思いました。それに加えて、薬師池公園の花見客を自由民権資料館へ引き込むことができたらいいなと思います。自由民権資料館の桜は大変見事ですので、桜の名所の1つとして、薬師池公園の桜とともに宣伝したら、薬師池公園から歩いてこられる距離でもありますので、もっと市民に知ってもらえると思います。多くの市民に自由民権資料館に立ち寄ってほしいと願っています。

3月30日、第3回まちだとしょかん子どもまつりに参りました。今回、市内にある全図書館で開催されましたことは大変よい取組だと思います。子どもまつりの最終日、中央図書館でのビブリオバトルに参加しました。ビブリオバトルは日本語では書評合戦と言い、人を通して本を知る、本を通して人を知るといった目的があるそうです。

ビブリオバトルのやり方は、本を紹介する人が4人から8人、それを聞く聴衆がいます。まず紹介する本を1冊選んで、1人5分で選んだ本の紹介をし、その後質問タイムをとり、聴衆からの質問を受けます。質問はその本の批判ではなく、その本をもっと読みたくなるような質問や、その本の面白さや楽しさをさらに引き出すような質問をします。最後に紹

介した人を含め、聴衆がどの本を一番読みたくなかったかを投票して、票が一番多いチャンプ本を決めるというものです。

自分が推薦する本を、いかに読みたくなるように5分間で紹介するには言語表現能力が必要となり、プレゼンテーション能力が高められます。また、ゲーム感覚ですので、楽しくできることも魅力的です。今回、本の紹介者であるバトラーに、多くの若い方々、中高生が参加され、またその中に尾留川館長も加わってくださり、大いに盛り上がりました。

ビブリオバトルが2回行われましたが、1回目は町田第二中学校の中1の男の子が紹介した『宇宙を織りなすもの』という科学分野の本がチャンプ本に選ばれました。町田第二中学校ではビブリオバトルが読書教育と言語教育の一環として行われており、その成果が見えました。町田高校でも1年生がビブリオバトルを行っていると聞いています。読書教育にも言語表現教育にもビブリオバトルはよい効果をもたらすと思いますので、多くの学校がこれから取り入れてくれることを願います。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。井関委員、お願いします。

○井関委員 今日は報告事項が多いようですので、1点簡単にご報告いたします。

3月16日に、今、高橋委員が報告されました自由民権資料館で開催されている「小野路村展」の関連企画として「小野路史跡巡り『布田道を歩く』』というのに参加しました。3月の定例会でご報告しましたように、この企画展では3回の史跡巡り、フィールドワークを実施する予定だったのですが、2月23日の第1回は大雪、3月2日の第2回は雨と寒さということで中止され、今回私が参加できた第3回のみの実施となりました。

高橋委員も触れられましたけれども、小野路宿里山交流館で「いにしへの小野路写真展」をやっていたので見学に行きました。学芸員が20分間、解説をしてくれました。大正3年に大蔵から移ってきた製糸工場の写真では、若い女性がずらっと並んで作業している風景、それから交流館の前身である角屋細野家の銅版画では、小野路郵便局の看板が読み取れます。交通の要衝であったという証の1つだと思います。

布田道というのは小野路から調布市まで続いているそうですが、鎌倉街道を別所で横切り、尾根伝いに黒川まで歩きました。3月の定例会の報告で、雪が残ったら中止というのがよくわかる山道もところどころにある、町田の中の里山を1つ紹介しましたけれども、このような史跡巡りをしますと、毎回、前に来たことのある人がいらして、地元の方の参加もあって、ところどころで学芸員でない方が説明をされていました。

1つだけご紹介しますと、昭和37年からのことですが、黒川近くに神奈川県の柿生発電所という水力発電所があります。相模湖から地中にある川崎市の水道導水路を経て届く水、約12メートルの落差を利用して、出力680キロワット、年間約500万キロワットアワーの発電量で、1,350軒の家庭の使用量に相当するそうです。発電に使用した水は長沢浄水場に運ばれて川崎市民の水道水になるそうです。

町田市のことを調べますと、水力発電はなくて、町田市のリサイクル文化センターにある清掃工場で、バイオマスを使った火力発電で、発電能力4,000キロワットというのがありました。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。岡田委員、お願いします。

○岡田委員 3月19日、町田市民文学館の「遠藤周作『侍』展—“人生の同伴者”に出会うとき」に行ってみりました。内覧会のときに、展示を見ながら、専門家の方や研究者の方には大変喜ばれるような貴重な資料がたくさん出ていて充実していると感じたのですが、私自身はそれほどの専門家ではないので、ちょっと難しいかなと思っていました。そのときに、やはりもっと視覚的に引きつける工夫をしたいという担当の学芸員の方の言葉があり、どのように変わったか気になっておりました。私の友人たちで「侍」展に行った人から、とてもよかったという感想を聞きましたので、会期中ぎりぎりになりましたが、3月19日に、再度行ってきました。

私のそのときの感想ですが、本当によくなったと思いました。「“人生の同伴者”に出会うとき」というサブテーマが実感できるような写真や、いろいろな視覚的に訴えるようなものとか、そういったものが増えていましたし、あと、読む部分も、細かい字よりも、もっと大きな字で、パッと見て心に入ってくるようなメッセージの展示が増えていました。学芸員の方が大変工夫されて、私も涙が出てくるような展示になっておりました。すばらしかったです。

次に、4月3日、家庭教育支援学級開設説明会が生涯学習センターで行われたので、聞きに行ってみりました。これは昨年度スタートした家庭教育支援学級の2年目になります。今年の説明会には7～8人の方が参加されておりました。参加者が、少ないとも言えるのですが、大変熱心に質問していたグループがいたので、そこに期待したいと思います。

昨年の学級に参加した方たちの活動が今どうなっているか、2年目はどういうビジョンで活動されるかというようなことも具体的に説明をしてくださったので、イメージがつか

みやすくとてもよかったです。生涯学習センターと市民との協働で、今、家庭教育が大変重要視されておりますし、私自身も大変重要なものと思っていますので、今後ともよい活動が発展的にずっと続けられていくといいなと心から願っております。

それから、4月5日、「鶴川第二中学校・鶴川第二小学校合唱団全国大会入賞記念合同演奏会」に行きました。さすがに続けて何年間も全国大会に出ているような学校の合唱はすばらしいなど、本当に心に響くような歌声だなと思って感心しました。それと同時に、この2校が、町田市内のほかの学校に大変刺激を与えてくれていて、町田市内全部の学校で、合唱に関するいろいろな取り組みが行われ、なおかつ、それぞれの学校のレベルが大変上がってきていることに大変感謝しております。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。

私から、もう1つ報告いたします。先ほど教育長からも報告がありましたけれども、4月2日に臨時校長会、1日置いて4日に再び臨時校長会が行われました。2日の臨時校長会は、例年、全部の校長が顔をそろえて、子どもとの最初の出会いの会ではありますが、年度の準備で各学校は大変忙しいところ、4日にも臨時校長会ということで、校長先生方に集まっていただきました。

この内容は、先ほど教育長が申しましたように、市内の中学校の教諭が逮捕されたという件でございます。全ての校長たちがこの事件を真剣に受けとめてくれており、教育長、指導室長から適切な指導等、お話ししていただきました。通常であれば、私は出席しませんが、今回は、私も出席させていただいて、一言述べさせていただきました。二度とこのようなことが起こらないようにと強く思っているところでございます。

教育委員の報告につきまして、何か質問などありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

(「ありません」の声あり)

○委員長 それでは、以上で月間活動報告を終了いたします。

日程第2、議案審議事項に入ります。

議案第2号を審議いたします。教育長から説明をお願いいたします。

○教育長 それでは、議案第2号についてご説明申し上げます。「教育委員会職員の4月11日付け人事異動の臨時専決処理に関し承認を求めることについて」でございます。

本件は2014年4月11日付の人事異動を命ずるため、臨時専決処理をいたしましたので、

教育委員会において承認を求めるものでございます。

資料をご覧くださいますと、対象者が記載してございます。学校教育部勤務が3名、生涯学習部が1名、小学校勤務が2名、計6名の新規採用職員の転入でございます。なお、本日、今朝ほど、辞令交付を行いました。

説明は以上です。

○委員長 ただいまの説明に関しまして、何かありましたらお願いします。

(「ありません」の声あり)

○委員長 それでは、お諮りいたします。議案第2号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ご異議なしと認め、原案のとおり承認することにいたします。

次に、議案第3号を審議いたします。

○教育長 それでは、議案第3号についてご説明を申し上げます。「町田市公立学校教職員の新規採用に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて」でございます。

本件は、学級増等の事由により、欠員となった学校に、新規に教員を採用するため、2014年3月18日、25日及び31日に臨時専決処理をいたしましたので、教育委員会において承認を求めるものでございます。

2枚目以降に資料がございますが、ご覧のように小学校44名、中学校25名、計69名の新規採用教員でございます。なお、既に4月2日に辞令交付式を行わせていただいたところでございます。

説明は以上でございます。

○委員長 ただいまの説明に関しまして、何かありましたらお願いいたします。

(「ありません」の声あり)

○委員長 それでは、お諮りいたします。議案第3号は、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ご異議なしと認め、原案のとおり承認することといたします。

それでは、日程第3、報告事項に入ります。追加の報告はございませんか。

○指導室長 先ほどから出ておりますが、4月2日、市立中学校教員の逮捕案件について、最後にご報告をさせていただきたいと思っております。

○委員長 わかりました。報告事項 16 ということで、報告をしていただこうと思います。

今日は報告事項がたくさんありますので、ところどころで質問をいただく時間をとりたいと思います。

最初に、報告事項 1、2、15 について、お願いいたします。

○学務課長 それでは、学務課から、報告事項 1、報告事項 2 及び報告事項 15 についてご報告させていただきます。

まず最初に、報告事項 1 「2014 年度町田市立小・中学校の学級編制について」、ご報告させていただきます。2014 年 4 月 7 日現在の児童・生徒数及び学級数が確定いたしましたので、ご報告するものでございます。

通常学級の学級編制でございますが、小学校につきましては児童数 2 万 2,961 人となっております。前年度と比較いたしまして 239 人の減となっております。また、学級数につきましては 724 学級で、前年度比 2 学級の減となっております。小学校につきましては、平成 22 年度、2010 年度をピークに現在も減少が続いているという状況でございます。

中学校につきましては、生徒数 1 万 542 人となっております。前年度と比較しまして 174 人の増となっております。学級数につきましては 294 学級で、前年度比 3 学級の増となっております。中学校 1 年生につきましては、一昨年度から東京都が独自に 35 人以下学級を実施しておりますが、このことによりまして、教員加配の対象になった学校は 11 校でございます。この表の網かけの学校でございます。なお、11 校中、学級増での対応は 5 校、学級増をせずに T T、チームティーチング等で対応する学校が 6 校となっております。中学校全体といたしましては、現在も増加傾向が続いているという状況でございます。

裏面をご覧ください。こちらにつきましては特別支援学級の学級編制でございます。小学校につきましては児童数 333 人で、前年度と比較いたしまして 3 人の増、学級数につきましては 53 学級で、前年度より 1 学級の増となっております。中学校につきましては生徒数 184 人で、前年度比で 12 人の減、学級数につきましては 29 学級で、1 学級の減となっております。

報告事項 1 については以上でございます。

次に、報告事項 2 「町田市就学援助費支給要綱の一部改正について」でございます。本件は、小学校給食における食物アレルギー対応を希望する保護者に対しまして、学校生活管理指導表の提出を義務づけたことに関連いたしまして、保護者が医療機関に支払う文書作成料を就学援助費の支給費目とするために改正するものでございます。

改正内容につきましては、就学援助費の支給対象費目に「学校生活管理指導表（アレルギ－疾患用）作成費」を加えるものでございます。

報告事項2につきましては以上でございます。

次に、報告事項15「町田市通学費補助金支給要綱の一部改正について」でございます。市では、2008年度に実施されました包括外部監査の報告を受けまして、全ての補助金要綱にサンセット項目を盛り込みまして、原則として3年ごとに補助金の見直しを行う方針を決定いたしました。

本要綱につきましても、この方針に従いまして、2014年3月31日限りでその効力を失うと規定していたわけですが、遠距離通学者の通学時の安全確保、また保護者の負担軽減の観点から、補助金が有効であると判断いたしまして、要綱の期限を延長することとしたものでございます。

改正内容は、要綱の期限を2017年3月31日限りに改めるものでございます。

報告は以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。報告事項1、2、15につきまして、何か質問などありましたらお願いします。

（「ありません」の声あり）

○委員長 それでは、続きまして報告事項3、4、5をまとめて報告をお願いしたいと思います。

○指導課担当課長 それでは、私から、報告事項3「町田市学校教育関係団体研究事業等補助金交付要綱の制定について」、ご説明をさせていただきます。

本要綱につきましては、町田市が学校教育関係団体に対しまして、市の学校教育に関わる事業に要する経費の一部を補助することにより、その活動を促進し、もって市の学校教育の振興に寄与することを目的として制定するものでございます。補助対象事業、その他、補助金の交付に関し、必要な事項を定めておりまして、2014年4月1日から施行します。

なお、本要綱の補助対象者につきましては、町田市公立小学校教育研究会、町田市中学校教育研究会並びに東京都中学校体育連盟町田支部の3団体のみとなっております。

以上でございます。

続きまして、報告事項4「町田市立中学校部活動全国大会等参加費補助金交付要綱の一部改正について」でございます。

本要綱につきましては、町田市立中学校の部活動におきまして、全国大会等に出場する

生徒の保護者に対しまして、全国大会等の参加に要する費用の一部を補助することにより、保護者の経済的な負担軽減を図り、もって部活動の振興に寄与することを目的として制定しているものでございます。

今回の一部改正につきましては、要綱の有効期限を延長するため、改正するものでございます。2017年3月31日を期限として新たに書き加えたものでございます。

説明は以上でございます。

○指導室長 報告事項5「2013年度 町田市学力向上推進委員会報告書」につきまして、ご説明いたします。

本件は学力向上推進委員会1年次の報告として、3月20日付で学力向上推進委員会委員長から教育長に提出されたものでございます。1年次、2013年度の主な取り組みや成果といたしましては3点ございます。

1点目は、学力調査の結果から、町田市全体として、基礎基本はおおむね定着している傾向ですが、思考力、判断力、表現力等については課題があることがわかりました。そこで、思考力、判断力、表現力を育成するために、顧問をしていただいております東京大学大学院の藤村教授が提唱します「協同的探究学習」という指導法を取り入れ、市全体で推進していくという方向づけを行っております。

2点目としましては、学力向上推進委員会の進捗状況や、各学校における学力向上のための効果的な取り組み等について情報を収集し、資料を作成して、発信をいたしました。

3点目としましては、学力向上推進パイロット校における公開授業を4回ほど実施いたしました。

これが昨年度の取り組みや成果でございます。

2年次となります2014年度は、5点のことに取り組んでまいります。

1点目は、2015年3月までに町田市学力向上推進プラン（案）の作成を行います。

2点目、学力調査の結果から、学力・学習状況の実態把握と課題解決の取組の検討をさらに進めてまいります。

3点目、学力向上を図る効果的な取組についての情報収集と発信を続けてまいります。

4点目、学力向上推進パイロット校による「協同的探究学習」の実践研究及び公開授業を年間8回ほど実施する予定でございます。

最後、5点目でございます。2015年5月に、2年間の報告として、市民ホールにて開催を予定しております町田市学力向上推進事業説明会の準備を進めてまいります。

以上5点について今年度は取り組んでまいります。

以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。報告事項3、4、5につきまして何か質問などありましたらお願いいたします。

私から。学力向上に関しまして、質問になるか、意見・要望になるかわかりませんが、この報告書の概要を見る限りでは、全ての児童・生徒を対象にした取組ということで並べられていると思いますが、私は学力が十分に身につけていない児童・生徒に対する何らかの取組が必要なのではないかと常々考えています。もしこの中にそのことが記載されているなら、どこに記載されているかをお答えいただき、もし十分でないとしたら、要望として受けとめていただければありがたいと思いますが、いかがでしょうか。

○指導室長 「報告書について」という資料の裏面になりますが、※(3)「学力向上モデル地区」のところに示しておりますように、民間の調査機関との共同研究により、地区の実態・課題に応じてモデル地区を指定し、研究を進めております。その中で、今、委員長のおっしゃいました、学力が十分ではないという児童・生徒への取組というのを進めているところでございます。また、このモデル地区の実践を全校に広げていくというのが今後の計画でございます。

○委員長 どうぞよろしくお願いいたします。

次に、報告事項6から10まで、続けてお願いいたします。

○生涯学習総務課長 それでは、報告事項6「町田市文化財保護事業費補助金交付要綱の一部改正について」、報告させていただきます。

この要綱は、文化財の所有者に対しまして、文化財の維持管理等の経費の補助について定めたものでございます。報告事項15等と同様に、これにつきましても、全庁的に補助金業務の見直しを行い、その一環として一部改正を行ったものでございます。制度の内容につきましては、従前からの変更はございません。

主な改正点は3点になります。1つ目は、第1の「趣旨」という冒頭のところの言葉を「目的」に改めました。2つ目は、別表に具体的な上限金額を入れました。3つ目は、附則に有効期限を定めたこと、これは3年後に補助金に関わる見直しを再度行うためということでございます。その他、文言の整理を行ったものでございます。

報告は以上でございます。

続きまして、報告事項7「自由民権資料館 第2回企画展『小野路村展』」の実施報告を

させていただきます。

開催期間につきましては、2月8日から3月30日までの計44日間でした。入館者数につきましては1,096人で、何とか目標の1,000人に達することができました。

特に今回は、企画展初日から大雪に見舞われまして、井関委員のお話にもありましており、史跡巡りが3回中、2回中止になったり、展示開設などにも大きな影響を受けたところでございます。それでも多くの地域の皆さんにお越しいただき、好評に終わりました。

高橋委員のお話にもありましており、在住の新倉さんの絵の展示を初め、展示の資料については、地域の多くの皆様にご協力いただいて、この展示を成功させたものだと思っております。

各開催イベントの結果につきましては、資料に記載のとおりでございます。また、期間中に「いにしへの小野路写真展」を小野路宿里山交流館において開催し、こちらも多くの皆さんにお越しいただいたところでございます。

最後に、昨年度の自由民権資料館の総入館者数を報告いたします。雪の影響がなければ6,000人に達するかなという見込みだったのですが、残念ながら少し足りなくて、5,868人となりました。それでも昨年度に比べて200人増えておりまして、これで6年連続で対前年度比プラスを継続しているといったことで報告させていただきます。

以上でございます。

続きまして、報告事項8「新規文化財指定記念展『町田市考古セレクション2』の開催について」、報告させていただきます。

一昨年度、考古セレクション1を開催いたしまして、今年は2回目となります。4月19日から6月8日まで自由民権資料館にて開催いたします。今年は縄文時代の出土品200点を展示いたしますが、新規文化財に土偶を指定いたしましたので、土偶を中心に市内の顔を集めたというところがちょっと楽しい特徴になるかなと思っています。また、この時期は、小・中学校においては新たな歴史の授業がスタートしますし、時期的にも多くの児童・生徒の皆さんにもお越しいただければと考えております。

以上でございます。

○生涯学習センター長 報告事項9、10について報告させていただきます。

報告事項9「『2014年度ことぶき大学前期受講生募集プログラム』について」、報告いたします。オレンジ色の表紙のプログラムをご覧ください。

3月21日の広報で募集を開始いたしました。1ページめくっていただきますと、裏面に

コースと定員等について記載しております。今年度のことぶき大学は、前期、後期に分けて全8コースを予定しています。前期については5コース、後期については裏表紙にある3コースを実施いたします。健康コースは実技を行うため、前年同様に1コースの定員が50名で、前期、後期の2回に分けて募集をいたします。コースについてはアンケートなどをもとに設定しております。ことぶき大学の対象者は、市内在住の60歳以上で、全回継続して出席できる方です。4月21日までに往復はがきで申し込みをしていただきます。

報告事項9については以上でございます。

続きまして、報告事項10「2013年度町田市生涯学習センターの事業報告について」です。2012年4月から生涯学習センターを設置し、2年が経過しました。この間に生涯学習センターで取り組んできたことを報告させていただきます。

取り組んできた事項については、1つ目に、生涯学習施策を着実に推進するため、町田市の生涯学習分野では、初めてのアクションプランとなる生涯学習推進計画を策定いたしました。

2つ目に、情報収集提供等について、市民にタイムリーな情報発信をするために、多方面からの生涯学習情報を収集し、内容の工夫をして、年6回「生涯学習NAV I」を発行いたしました。また、2012年度末に運用を開始した生涯学習ボランティアバンクの充実を図るため、利用につなげるための「1日体験講座」と登録者のための「スキルアップ講座」を実施いたしました。現在73の個人や団体の登録をいただいております、2013年度は13件の利用がございました。

3つ目の事業の実施については、2013年度から家庭教育支援事業として、国の補助金を活用し、子育て中の親を対象とした従来の事業を再編・拡充し、乳幼児から中学生までの各世代の保護者のための講座、担い手の育成として家庭教育支援学級の開設、子育て交流ひろば「きしゃポップ」事業などを実施いたしました。

4つ目に、さがまちコンソーシアム等他機関との連携では、「さがまちカレッジ」を含め、18事業を実施いたしました。

1年間のまとめといたしましては、生涯学習センター2年目に当たる2013年度は、事業評価制度を従前より進め、72事業に対し「事業評価シート」を作成し、職員が共通認識を持ち、事業の改善、新規事業の取組などの効果を生み出しています。また、生涯学習推進計画策定に当たり、庁内の生涯学習に該当する各種事業を調査し、その取組の全体像を把握しました。今後は生涯学習に関する庁内連絡会議の設置などを通して、各部署との連携

を深めてまいります。反面、まだまだ生涯学習センターの認知度が低いため、生涯学習センターを利用していただく方が限られていること、ホームページなどの情報発信が十分でないことなどの課題も残りました。2014年度以降は、これらの課題に対応しながら、生涯学習センターが生涯学習の拠点機能を果たせるように取り組んでまいります。

報告は以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。報告事項6から10までに関して、何か質問がありましたらお願いします。

○井関委員 報告事項10の町田市生涯学習センターの事業報告ですが、「生涯学習NAVI」はカラーのきれいなもので、中にカレンダーで、何月何日に何があるというのがすぐわかるようになっています。これは読む人、見る人には非常にいいのではないかと思います。特にその行事が連続講座なのか、途中からポッと入れるような単独なのか、その辺の印もマークで記されていますので、わかると思います。特に今号は、センター長の退任挨拶とか、体験のレポートなど、読み物的要素も加わっていると感じました。

これはホームページから一括あるいは目的別にダウンロードできるようになっているのですが、市のホームページ、市ではトップページと言っていますが、トップページの中からこれを探し出すのが非常に難しいのです。「生涯学習NAVI」というキーワードを知っている人だったら、検索すれば一発で出るのですが、少なくとも「生涯学習」という単語を知らないと、なかなかたどり着かないのですね。この辺、何か工夫していただきたいと思います。

大きな枠は「文化・スポーツ」、「暮らし」、「子育て・教育」等に分かれていまして、多分「文化・スポーツ」だろうと思うのですが、次に「文化芸術情報」、「スポーツ」、「生涯学習」などに分かれていて、「文化芸術情報」にもこういうのがあるんだというのをポッと入れてもらえるようなリンク、ぐるぐる回ればリンクしているのですけれども、「NAVI」という字が1番目に出てくるような工夫とか、何かそういうのをすれば探しやすくなるのではないかと思います。

以上です。

○生涯学習部長 先ほどの報告の2014年度の取り組みの一番最初に、生涯学習ポータルサイトの構築準備を予定させていただいております。生涯学習推進計画の重点事業の1つとして、今お話しいただいたポータルサイトの構築ということで、市のホームページとは別に、生涯学習のホームページの立ち上げができるかどうかを、今年1年かけて検討し、あ

と、市のホームページのかかわりについて整理をして、ポータルサイトの構築準備という形で進めてまいりたいと思っております。

以上です。

○委員長 ほかにございますか。

○岡田委員 町田市考古セレクションの件ですが、日ごろこうやって暮らしている私たちの地面の下に、3,500年前に住んでいた人の遺跡が残っていて、土偶が発見されるということを実感している子どもとか、大人もそうなんですけれども、余りいないと思うのですね。特に先生方ですと、町田市にずっとお住まいの方もいらっしゃるのですが、他市から転入された先生方にはそういったところの感覚があまりないのではないかと思います。歴史の授業は4月にすぐ始まりますから、お忙しいところですが、できれば副校長会などで、少し宣伝をしていただけると、子どもたちが本当に、「あっ、町田は昔から人が住んでいたんだ」という感覚を持ってもらえると思うので、もし時間があればお願いしたいと思いません。

○生涯学習総務課長 学校への周知に関しましては、交換便等でチラシとかポスターの掲示をお願いしているところですが、今年は積極的に校長先生や副校長先生に、アピールしていきたいと思っておりますので、今後ちょっと研究いたします。

○委員長 ほかにいかがですか。私から、報告事項10に関して、意見というか、期待をしておりますという意見なんですけれども、行政という立場で家庭教育にかかわるのは、なかなか難しいこともいろいろあると思いますが、今回、家庭教育支援事業の充実に取り組みまれるということで、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

ほかによろしいでしょうか。

(「ありません」の声あり)

それでは、次の報告事項11から14まで、一括してお願いいたします。

○図書館副館長 それでは、報告事項11「ICタグ等貼付作業に伴う地域図書館の休館について」、ご報告いたします。

2015年3月開始予定の新図書館システムに使用するICタグ等の貼付作業を行うため、堺図書館が5月19日から31日までの13日間、鶴川図書館が6月2日から13日までの12日間、鶴川駅前図書館が6月16日から30日までの15日間、休館いたします。

休館する理由ですが、この3館については、開館しながら作業を行うための十分なスペースがどうしても確保できないため、休館しての作業となります。

具体的な作業内容としましては、利用者による自動貸出、自動返却を実現するための I C タグの貼付作業と、利用者による自動予約受け渡し及び蔵書点検日数の短縮を実現するためのカラーバーコードの貼付作業を行います。

休館について、利用者への周知としましては、「広報まちだ」5月1日号を予定しております。そのほか、既に4月1日から掲載しておりますが、ホームページ、館内掲示で周知を図っていきます。

最後に、この作業は2015年3月に予定している図書館システムリニューアルの事前作業になり、全ての図書館資料が貼付の対象となります。2013年の10月から作業を開始しまして、2015年2月中に完了する予定となります。2013年度はスペースに余裕のある中央図書館で開館しながら作業を行いました。ここで報告している以外のさるびあ図書館、金森図書館、文学館では、中央図書館と同様、休館せずに作業を行います。

資料の裏面になるのですが、木曽山崎図書館は、今年度、耐震補強工事を予定しており、その際、長期に休館いたしますので、I C タグ等の貼付は、その工事期間中に資料保管場所で行う予定でございます。

次に、報告事項12「第3回 まちだとしょかん子どもまつり」について、ご報告いたします。

まちだとしょかん子どもまつりは、主に子どもを対象に活動している図書館、登録団体が実行委員会を組織し、子どもや保護者に楽しい場を提供する、本や図書館に親しみを持ってもらうことを目的に開催いたしました。3回目となる今回は、おはなし会を定期的で開催する水曜日の26日をプレ子どもまつりと位置付けまして、まつりの実際の期間としては27日から30日までの4日間ということで行いました。今回は初めて中央図書館のほか、文学館を含む全図書館8館を会場として、団体のほうは12団体が参加し、開催いたしました。

資料の次のページにプログラムが載っていますが、おはなし会、ブックトーク、講演会、ビブリオバトルなど、45のプログラムを実施いたしまして、合計で1,280名の方が参加するという結果になりました。

報告は以上でございます。

○図書館市民文学館担当課長 私からは、報告事項13「遠藤周作『侍』展―“人生の同伴者”に出会うとき」の実施報告について」、ご説明申し上げます。

2013年度冬の企画展といたしまして、延べ54日間にわたり実施いたしました。観覧者

数ですが、会期全体で 3,000 人、1 日平均 55.6 人でした。目標の 4,000 人に対する達成率は 75%でした。

関連事業である音楽ミュージカル見学は好評でした。また、「“狐狸庵 V S マンボウ”のユーモア」の講演会は、申し込み開始早々定員に達しまして、その後も問い合わせが多く続くという人気ぶりでしたが、当日、2 月 8 日の大雪の影響でキャンセルが相次いでしまして、定員 80 名のところ、参加者は 35 名ということでした。

裏面になりますが、アンケートによりますと、9 割以上の方から満足の評価をいただきました。来館者の年代は、リアルタイムで作品を読んでいた 50 代から 80 歳代が 7 割以上を占めました。今後も観覧者数の増加が図られるよう検討を重ね、努力していきたいと考えております。

続きまして、報告事項 14 『文藝絶佳—林忠彦、齋藤康一、林義勝、タカオカ邦彦—写真展』の開催について、ご説明申し上げます。

2014 年度春の企画展といたしまして、4 月 19 日、土曜日から、6 月 29 日、日曜日まで、延べ 60 日間にわたり写真展を開催いたします。これまで町田ゆかりの文学者を取り上げた展覧会、文学一般をテーマとした展覧会を開催してまいりましたが、今回は「文芸の世界を写真で表現すること」をテーマに、私たちが文芸の世界にいざなう 4 人の写真家の作品を展示いたします。

小説の世界を被写体に優れた写真を遺した林忠彦、作家の日常の顔に迫った齋藤康一、能の世界を格調高く表現した林義勝、町田ゆかりの作家を多数撮影し、絶大な信頼を得るタカオカ邦彦の 4 人の作品を通して、文芸写真の魅力とその変遷に迫ります。

関連イベントにつきましては、裏面の資料に記載のとおりとなっております。

説明は以上になります。

○委員長 ありがとうございます。11 から 14 までの報告事項について、何かありましたらお願いいたします。

(「ありません」の声あり)

○委員長 今回、生涯学習部の皆様、数の上でも、中身の上でも、大変ご尽力されていることがよくわかりました。

最後に、報告事項 16 ということで、町田市立中学校教諭の逮捕に関しまして、報告をお願いいたします。

○指導室長 それでは、追加でお願いをいたしました報告事項 16、町田市立中学校教員の

逮捕についてご報告をいたします。4月3日の新聞各紙に町田市立中学校教員が強姦容疑で逮捕されたとの報道がされました。そのことについてのご報告です。

本件につきましては、次のように報道されております。4月2日、神奈川県警高津署が、町田市立中学校の教諭を強姦の疑いで逮捕した。当該教諭は昨年6月1日午前0時40分ごろ、川崎市内の路上で、市内の女性会社員、20歳に声をかけ、女性の腕をつかんで押し倒し、暴行したとの報道でありました。防犯カメラの画像から当該教諭を容疑者として特定した。本人は強姦については容疑を否認していますが、キスをして胸をさわったなどのことは認めているという報道でありました。

この報道を受けまして、教育委員会としましては、再発防止とともに、年度当初に当たって、改めて服務規律を徹底するために、4月4日、金曜日、4時に臨時の校長会を開催いたしました。この校長会は小学校、中学校とも校長を集めております。当該の学校におきましては、4月4日、金曜日、夜に、臨時の保護者会を開催し、事件の内容とおおび、また今後の対応について説明を行いました。

この段階では、新入生の入学式の前でしたので、入学式後の4月9日、水曜日に、改めて新1年生の保護者を対象に保護者会を行っております。保護者の方々からは、授業などに生徒に影響がないように取り組んでいくことにおおむねご理解をいただいたと学校から報告を受けております。

また、生徒の不安や動揺などが考えられましたので、教育センターからカウンセラーを当該校に、始業式から3日間、2名派遣いたしました。また、この間、指導主事を学校に派遣するなどして対応してまいりました。当該校の校長先生初め、教職員の努力により、生徒たちは、新入生も含めまして、落ちついて始業式、また入学式を迎え、新しい学校生活を過ごしているということでございます。

今後、司法の判断とともに、東京都教育委員会の判断をもとに対処してまいりますが、いずれにいたしましても、授業を初め教育活動に影響がないよう、教育委員会としても学校を支援していきたいと考えております。

最後に、再発防止のために、各学校では校長による指導を徹底するようにしてまいりますが、指導課としましても、各種研修会等を使いまして、服務規律の徹底を改めて図ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長 ただいまの報告に関しまして、何か質問などありましたらお願いします。

○岡田委員 ありがとうございます。臨時保護者会での保護者の方の様子とかを説明していただきましたので、少し安心いたしました。ただ、今、子どもたちがあまり動揺した様子が見られなくて落ちついて授業を受けているというお話をいただいたのですが、こうした事件に関しては、中学生というのは大変敏感な時期でして、大人が思っているよりもずっと長く影響というか、不安がぶり返してきたりというようなこともあります。派遣された2名のカウンセラーは、多分もうそろそろ引き揚げておられると思うのですが、引き続き担当されている当該校のスクールカウンセラーの方や養護教諭の方、先生たち全員がそのことを頭にとめて、子どもたちを注意深く見守っていただけたらなと思います。

○指導室長 ありがとうございます。当該校のスクールカウンセラーも今週から週1回の勤務が始まっております。そのカウンセラーの活動の中で子どもたちの様子をさらに観察していきたいと考えております。また、今ありました養護教諭、また特別支援教育のコーディネーター等が学校にはおりますので、そういった教諭を中心に、全教職員で子どもたちの様子を観察し、場合によっては改めて教育センターのカウンセラーを配置するといったようなことも、子どもたちの状況を見て考えていきたいなと思います。また、子どもたちのほうからも、毎月行っております心のアンケートがありますので、そちらで子どもたちの声を吸い上げ、対応していきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長 ほかにございますか。私から。個人情報に触れるところは無理だと思いますが、逮捕された教諭の履歴も含めて、何か人物像などで、こういう公の場で報告できるようなことがありましたら、お願いいたします。

○指導室長 当該の教諭は、31歳という年齢でございます。教職経験もまだ浅い教員でございます。そういう意味では、先ほどありましたが、今年度も多くの教員が新規採用ということで学校に配置されておりますので、新規採用教員の服務規律の徹底という意味でも、各学校の校長には依頼をしたところでございます。

以上でございます。

○委員長 採用されてから1年たつんでしょうか。いわゆる生徒とか保護者等からの評判というんでしょうか、評価というんでしょうか、これはどのように指導室長に届いておりますでしょうか。

○指導室長 当該の教諭は、学校での勤務状況に関しましては、校長からも、特に問題はなかったと報告を受けております。そういう意味では、校長初め教職員にとっても、大変

ショックのある突然の出来事であったと聞いております。また、子どもたちや保護者からの声ということでも、これまで特に何か指摘されるようなことはなかったということで、部活動等を含めまして、他の教員と同じように取り組んで、授業も、その経験年数に応じた一定の指導力を持って授業に当たっていたと聞いております。

○委員長 ほかにいかがでしょうか。

先ほど指導室長からもありましたように、今後とも学校の子どもたち、保護者、地域、何より校長先生と教職員の皆さんの様子を見ていただいて、もし問題があればぜひ支えていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、報告事項を終わりましたので、ここで休憩いたします。

午前 11 時 11 分休憩

午前 11 時 16 分再開

○委員長 再開いたします。

別紙議事録参照のこと。

○委員長 以上で町田市教育委員会第 1 回定例会を閉会いたします。

午前 11 時 18 分閉会